「学習理論第１刷・正誤表」

p10 上４，５行目の式

右辺　誤：$\mu \rightarrow$　正：μh,　誤：$\lambda \rightarrow$　正：λh

ｐ22　下１０行目

誤　前ページの脚注　→　正　脚注

p22 上３行目

誤：produce　→　product

誤：〈・〉　→　〈・，・〉

p22 上８行目

誤：n＝１として　→　正：x を一次元として

p22 下１０行目：「前ページの」を削除する

ｐ36　式2.25　の前の行：

誤「…を式(2.14)に代入し…」→正「…を式(2.14)から1/mを取り去り，その後２倍したものへ代入し…」

ｐ45　上３行

誤　１章　→　正　６章

ｐ45　上５行目　「である。」の後に「ここで補完次元はｄ＝ｈである事を用いている。」

ｐ45　下６行目のｍ0=の式中　誤：　ｄ　→　正：　ｈ

p52 下から４行目の文

誤「となり，…ことがわかる」→正「となり，フィッシャー情報行列による２次形式が，非零のベクトルｓに対し０となるので，正則ではないことが分かる」

p65 一行目の式　の後に

$$(\alpha_i > 0)$$

を入れる。

P74 上から３行目：「の部分集合」→「のある部分集合」

P76 下から５行目式　中で次の訂正　$q_{ij} \equiv P(X_t \rightarrow q_{ij} \equiv P(X_{t+1}$

p94　下２行

誤　カーネル　→　正　関数

p95 定理 4.2 の証明：冒頭「まず，…，すなわち。」を削除。

証明の３行目：「Ｇが正定値であるならば」→「Ｇが正定値である必要十分条件として」
証明の下から３行の文章「反対に…である」を削除する
p96 上から９行目の式中「≡」→「＝」
ｐ108　上６行（第２段落）
　誤　式(4.8)　→　正　　式(4.6)
　誤　主表現による　　→　主表現で $b=0$ とした
ｐ108　上８行（第２段落）
　誤　「マージンは正規化された」　→　正　「マージンは標準化された」
ｐ109　上 10 行目の式中　左辺 誤：L(w,b, α）→　正：L(w, α）
ｐ110　上６行
　誤　(4.8)　→　正　　(4.6)

ｐ115　4.13 節　上３行
　誤　式(4.22)　→　正　　式(4.6)
p116　上 10 行目
　誤：　min 〈w,w〉 +CΣ（$\eta^2+\eta^2$）　→
　　正：min 1/2〈w,w〉 +1/2CΣ（$\eta^2+\eta^2$）
p116　上 14 行目　誤：　識別関数　→　正：　関数
p117　９行目
　誤：　min 〈w,w〉 +CΣ（$\eta+\eta$）　→
　　正：min 1/2〈w,w〉 +1/2CΣ（$\eta+\eta$）
p119　上 10 行目　誤：4.6 節　→　正：4.7 節
p122 上７行目　誤「この操作で最初のＧが変化しなければ…保証される。」→正「この操作で最初のＧが変化するため，テストの度にＧを作り直す必要がある。」
p123　下６行目　誤：すべてのの　→　正：すべての
p124　式(4.29)右辺　$\alpha_\ell \to \alpha_\ell^{ij}$
p135 下から 10 行目 $E=\{(i,j);i,j\in S\} \to E=\{(i,j):i,j\in V\}$
p137 上１行目「従って,」を削除
上２行目　誤「0 になる確率は」→正「0 になる確率 T_i' は」

p141 式(5.18) 中　T→t

p142 式(5.19)中　T→t

p145 式（５．２１）右辺第２項目として+const を挿入

p147　上３行目　(5.24)式左辺 誤：P(y|x) →　正：P(s|x)

下３行目　式(5.26)中　誤：$(1-r_i^{-1}(x))\rightarrow(1-r_i^{1}(x))$

下６行目　式中　誤：P(s|x) →　正：P(k|x)

p148 上２行目

誤　式(5.26)の・・・が　→　正　式(5.26)の・・・が，近似的に

p150　上１０行目　左辺　$P_\theta(\xi_\ell|\eta_\ell)\rightarrow P_\theta(\eta_\ell|\xi_\ell)$

右辺２項目中 $P_\theta(\xi_\ell|\eta_\ell)\rightarrow P_\theta(\eta_\ell|\xi_\ell)$

ｐ１５６　下３行式（５．５２）右辺 ln 内 $P_\theta(s,x)\rightarrow P_\theta(s|x)$

同式　二つ目の＝右辺　Σの　ｋ＝１→ｋ＝０

同じく　$q_i^k(x)\rightarrow r_i^k(x)$

ｐ159　11 行

誤　事後分布最大化学習　　→　正　事後確率最大化学習

(索引も訂正)

p169　上６行目　　式中　誤：y →　正：ボールドの(太字の)　y

ｐ178　5.11.3 項のすぐ上，RVM アルゴリズムの下へ以下を挿入

「アルゴリズムの実行で　$\alpha_i\rightarrow\infty$　となるパラメタは０となる。残りの重みが SVM のサポートベクトルに対応するレリバンスベクトルとなる。」

p179 下４行目の式中　左辺　$p(w|y,y,\alpha)\rightarrow p(w|\xi,y,\alpha)$

右辺　ξ　→　y

p181 上２行目式(5.105)

$\boldsymbol{\Sigma\Phi}'S\boldsymbol{\Phi}u\rightarrow\boldsymbol{\Sigma\Phi}'Su$

p210 最下行の式中　一つ目の等号右辺分母 exp 内の平均値 E_s の前に

$$\frac{\partial}{\partial q_j}$$

をいれる。

ｐ２１１　上２行目式　$1-\sum q_i^{k'} \rightarrow \ln(1-\sum q_i^{k'})$